

かねざわ 第53号

平成27年(2015)5月

- おかげさまで53号を迎えました。
- 各分科会の今年度方針をお読みください。

目次

	“わ”の会方針		運営委員退任の挨拶
2	新年度を迎えるにあたって	9	沓掛 勝利
	“わ”の会代表 今井 鎮夫	9	大門 利晴
	分科会今年度方針		学習会
4	「寺社を巡る会」代表 吉田 寿紀	10	「太田道灌と金沢」 盛本 昌広
4	「古文書を読む会」代表 真田 雅行		学習会の概要とアンケート結果
5	「懐かしの映画を観る会」代表 佐藤 晃		分科会からの便り
5	「ふれあいの道歩こう会」代表 小俣 悦男	13	「懐かしの映画を観る会」 佐藤 晃
6	「浮雲俳句会」代表 北野 清市	17	「浮雲俳句会」 北野 清市
7	「パソコンを使いこなす会」代表 林 洋	21	「ふれあいの道歩こう会」 小俣 悦男
	運営委員 新任の挨拶		歴史研究
8	瀬川 健次	25	「幕末開国をめぐる諸侯の意見聴取」 真田 雅行
8	山腰 策次郎	28	会員の動静
8	柴土 一廣	30	行事予定 6月～8月



金沢区生涯学習“わ”の会

ホームページ: <http://kanzawa-wanokai.in.cocan.jp/>

メー ル: yokohama.kanazawa.wanokai@gmail.com

新しい年を迎えるにあたって

“わ”の会 代表 今井 鎮夫

【挨拶】

新緑の輝く季節となりました。会員諸兄弟にはお変わりなく、この生命みなぎる5月を迎えられたことと存じ上げます。ご承知でしょうか当会は半年の準備期間を置いて、平成11（1999）年5月に金沢区の委託事業として会員61名でスタートし、3年間の委託事業期間が終了したあと、平成14年度から自主運営団体となりました。そして今年度平成27年度が17年目になります。この間、創立5周年、10周年、15周年事業を行い、また各分科会の10周年事業も行われてきて、いま充実期に入っていると思っています。会員数は平成15年に1

00名を超えて以来、ずっと120名前後で推移しております（学習会会場の最大収容人数を勘案すると会員数は125名が限度です）。会員の継続率も、この3年90%以上の高率をキープして運営する側として励みになっています。そしてまた、区役所をはじめ金沢図書館、地区センター、横浜郷土史団体連絡協議会などにおいて、当会の知名度と評価は年々高まっていると感じております。これもひとえに、会員皆さまのご協力の賜物と感謝致している次第です。

【昨年度の概要】

昨年度は、学習会の基本軸（時代区分を明確にして歴史を遡る）である6、7月が午後開催となったことです。これは講師の都合によるものですが、出席者数が危ぶまれる中、どちらの月も約80名の方が参加しました。なるべく迷わないように、学習会は「第2土曜日午前9時15分受付開始」を堅持しようと考えていますが、イレギュラ一番組になることもありますので学習予定表、ホームページ、“わ”の会通信、会報「かねざわ」で確認するようにしてください。また、9月の慶珊寺住職の「富岡の歴史と慶珊寺」は参加者が100名の盛会でした。佐伯住職が『武州富岡史話』を出版されたこともあり、岡本元代表のお力添えもあって実現しましたが、体調がお悪い中、講演していただいたことに深く感謝しております。そ

れに関連した探訪も、近年にない70名を超える参加者で探訪実行委員は充実感を味わいました。5月と11月は会員（高橋好一氏、真田雅行氏）の講演でしたがともに90名を超える出席者で、これも盛会となりました。そして公開歴史講座は21名のピジターが参加し、会員と合わせ99名出席のまれにみる参加数となりました。「太田道灌」が「金沢」とどういう関係があるのだろうという興味が大きかったようです。そのほか、会報「かねざわ」50号を記念して、いままでの会報記事すべてをCDに落とし込み全会員に配布しました。ご活用いただければ幸いです。分科会「懐かしの映画を観る会」10周年事業は、今年度の実施になりました。

【今年度の方針】

今年度は、際立っての新方針はありません。「金沢の歴史」を学ぶという方向は不変です。基本軸の学習テーマは、昨年度に続いて「鎌倉時代」です。今年度で鎌倉時代を終わり、来年度は南北朝～室町幕府成立に入っていこうと考えています。昨年度も申しましたが、ビジターの参加を積極的に推

し進めていこうと思います。これがひいては「地域貢献」につながるはずで、そのためのパブリシティなどの方法がございましたら、是非お教え願いたいです。それから昨年度は休止しました「フォーラムKANAZAWA」の参加を今年度は復活する予定です。

【学習会】

うくいす色の別紙「平成27年（2015）度学習会予定」をご覧ください。金沢北条氏の後半（貞顕中心）を6、7月に学習します。昨年度と同じく時間帯は午後です。そして新講師が2名（9月鈴木由美氏、11月新谷雅樹氏）登壇です。会

員（小俣悦男氏）の講演も5月総会時にあります。10月探訪は「称名寺」を徹底的に舐め尽くします。2月の公開歴史講座は「元寇」です。大いに期待してください。

【新規会員】

新規会員は11名です。男性7名、女性4名です。60歳から79歳の方で、東朝比奈2、釜谷2、能見台2、西柴2、富岡2、並木1でのお住まいです。会員総数は125名になります。夏ごろに新規会員の方々と運営委員＋分科会代表との意見交換会を設けるつもりです。それは、退会

する会員のほとんどが入会1、2年の会員だからです。分科会に入らず学習会だけの出席だと孤立感を覚えるのではないかと感じています。「学ぶ」喜びとともに「会って話す」楽しさを得るにはどうしたらいいか模索します。

【記念事業】

“わ”の会としてはありませんが、分科会の「浮雲俳句会」と「懐かしの映画を観る会」の10周年事業があります。それぞれの事業内容を注目しててください。

【運営委員会】

新任が3名で退任が2名です。今年度は9名で運営していきます。会則では10数名で組織するとなっていて、まだまだ足りません。運営委員くらい「やってやる」と手をあげてくださるようお願いいたします。今年度は名札が新しくなります。それによって、「運営委員」という名札が見えやすくなるはずで、気が付いたことなど、どんなこ

とでもいいですから、気軽に声をおかけください。最後にお詫びです。私は2年間だけ運営委員の代表を務めると明言して参りましたが、1年代表を延長ことになりました。口説きが下手で、代表を替っていただけの方を確保できませんでした。約束を違え誠に申し訳ありません。

今年度方針 「寺社を巡る会」

代表 吉田 寿紀

「寺社を巡る会」は平成 14 年 5 月に地域の史跡・寺社を訪れその歴史を勉強するため”わ”の会の最初の分科会として 15 人で発足しました。スタートは金沢区を中心に金沢札所 33 か所巡りに始まり、次に金沢区周辺、鎌倉、三浦半島、鎌倉周辺を巡りました。また東海道の宿場巡り、東京の寺社や博物館巡りあるいは大山詣でなども行っています。現在 40 人の会員が活動していますが、今年はボランティアガイドの案内で 6、7 月は横須賀・三浦地区、9 月からは初めての試みとして港北区、都筑区を中心とする横浜市北部の寺社、史跡を巡ります。真夏の 8 月と真冬の 2 月

は座学として五木寛之の「百寺巡礼」のDVD鑑賞を行う予定です。また 11 月には皆が楽しみにしている日帰りバス探訪で「筑波神社と筑波山」に行く予定にしています。当会は、“わ”をモットーに楽しみながら勉強する会です。歩くことにより体力の維持・向上を図るとともに、いつまでも若々しい頭脳を保つことを目標に活動しています。月 1 回の定例会の後は、希望者による「反省会」という名の親睦会を開催し、さらに絆を強くしています。今年は 5 名程度の新入会員を募集します。ご一緒に楽しく有意義なひと時を過ごさせんか。

今年度方針 「古文書を読む会」

代表 真田 雅行

当会は年度を 1～12 月とし、月 2 回、第二と第四の各木曜日に AM10:00～12:00 に原則金沢公会堂第 3 会議室で学習しています。第二木曜には地元金沢区に関係するものを、又第四木曜にはそれにこだわらず、面白そうなものを選んでやっています。今年は第二木曜が永島家文書から、前期は幕末異国船取押方日記を、後半は海防の為寺社から梵鐘供出のための明細調査書を学びます。第四木曜は有名なジョン万次郎の遭難帰朝

記事を学習します。どちらも既に 1 月から始まっています。なお、当会は初心者も受け入れていきますので、その方々のために前年同様「基礎講座」を各学習日の AM9:00 から 1 時間開催しています。現在メンバーは 17 人ですが、20 人までは受け入れたいと考えていますので、初心者でも歓迎します。ふるってのご応募下さい。年会費は 1000 円です(教材のコピー代と会場予約代)。



今年度方針 「懐かしの映画を観る会」

代表 佐藤 晃

平成16年6月に「懐かしの映画を観る会」が発足してから10年が経ちました。当初の17名の会員は、今や80名を超え、10年間で258本の映画を観賞しました。最初は32インチのテレビのモニターの小さい画面で見えていましたが、現在はブルーレイのプロジェクターを使って大画面で鮮明な画質、優れた音響で映画を楽しんでいます。27年度も例年通り、外国映画16本、日本映画8本、さらに再観賞映画4本と合計28本の映画を観賞する予定です。作品名は総会資料に掲載されております。観賞映画の半数は会員の投票で決め、残りの半数は私が選ぶことにしております。会員投票の第1位は外国映画では『冬のライオン』、日本映画は『舟を編む』でした。『冬のライオン』はブロードウェイの舞台劇の映画化で、12世紀のイギリス王朝の後継者争いを描いています。重厚な歴史劇でこの映画でアカデミー主演女優賞を得たキャサリン・ヘップバーンとイギリスの名優ピーター・オトゥールの息詰まる演技の対決が見ものです。また、日本映画第1位の『舟を編む』は辞書の編纂に黙々と取り組む青年の姿を描いた平成13年作の映画で、13年の日本映画大賞を得た話題作です。第2位は外国映画は『昼顔』です。主役はフランスの名花、カトリーヌ・ドヌーヴ。これまで、何年もこの映画を希望する会員は多かったのですが、毎年惜しいところで見送られていました。上位にランクされていた映画が、すでに観賞されたという経緯もあって、今年は堂々2位にランクされました。ジョセフ・ケッセルの原作をスペインの異才、ルイス・ブニ

ユエルが監督し、貞淑な人妻でありながら、昼は娼婦街に通う女の肉体と心の矛盾を、現実と幻想が交錯するシュールな映像で描いています。日本映画は昨年惜しまれながら亡くなった高倉健の代表作『駅』です。元オリンピックのピストル競技の代表選手だった刑事と3人の女との宿命的な別れを描いた作品です。今年は、はからずも「カトリーヌ・ドヌーヴイヤー」になりました。『シエルプールの雨傘』『インドシナ』『終電車』と4本リストアップしました。『シエルプールの雨傘』は再観賞映画ですから別として、他の2本はそれぞれ8位タイです。当会のドヌーフファンが結束した形です。しかし、4本を並べてみますと『シエルプールの雨傘』(撮影時21歳)『昼顔』(23歳)『終電車』(38歳)『インドシナ』(49歳)とそれぞれの年齢に応じた代表作品であり、比較してみるのもドヌーフファンとして楽しみです。当会の会員の平均年齢は、大体70歳前後と推測しております。1950年~1970年の懐かしい映画は9本。さらに昔の50年以前のクラシック映画を4本、『モロッコ』(1930年)『素晴らしき哉人生』(1946年)『愛の調べ』(1947年)『サンセット大道り』(1950)を加えますと13本になります。その一方、2010年以降の最近の映画『キリマンジェロの雪』、『舟を編む』『そして父となる』は2013年、「太秦ライムライト」は2014年の映画です。「懐かしの映画を観る会」今年度で12年目を迎えます。6月ごろ、10周年を記念して行事を行うべく「実行委員会」で鋭意検討中です。

今年度方針 「ふれあいの道歩こう会」

代表 小俣 悦男

お陰様で創設 12 年度目(当会は年度を 1 月～12 月としております)に入っております。今年度も創設当時からの安全・安心を第 1 に、チームワークを大切にしながら分科会活動を継続して参り

ます。なお、「関東ふれあいの道」144 コース 1665 kmを一昨年 1 月に完全踏破、2 月から会員のアンケートをもとに「独自コースを」を選定、再スタートして 3 年目に入っております

<今年度の月次定例会について>

今年度の月次定例会 11 コース(8 月は休会)を設定いたしました。11 コースを難易度で表すと 1(やさしい)は 4 コース、2(ふつう)は 3 コース、3(きつい)は 4 コースです。3 の中には 7 月予定のニッコウキスゲやアヤメの観賞を目的にした 1 泊 2 日の尾瀬ヶ原の山旅も入っております。会員 20 名の平均年齢は 73 歳ですが、67 歳から 81 歳まで年齢差があります。また、体力、さらには

経験にも差がありますので、それらのことを十分に考慮したうえで、月次定例会への出席率 80 パーセントを目安にすることで、大方の会員が納得いく選定を心掛けました。とはいえ、体力、気力は放っておけば下がるばかりです、会員各自の日頃からの歩き込みなどトレーニングに期待をかけております。

<第 I 回学習会>

分科会「ふれあいの道歩こう会」の日頃の活動についてみな様方に多少でも具体的にご理解をいただくことを念頭におき総会後の今年度第 1 回学習会を小生が担当させていただくことになりました。

約 1 時間で 60 枚余の映像を使い今までの実績や富士山など印象の強かった風景について歴史を絡めてお話をさせていただきます。

今年度方針 「浮雲俳句会」

代表 北野 清市

「浮雲俳句会」の本年度の活動方針は、「島嶼俳句」へのトライとした。

1 わが国と島々

わが国は島国であり、すべてが島から成り立っている。

島嶼(とうしょ)は 6 8 5 2(北海道・本州・四国・九州それに沖縄本島を除く)。

島嶼のうち有人島が 4 2 1 島(全体の 6%)。残りの 6 4 3 1 島(全体の 9 4%)が無人島である。

追って、これらの島嶼の中には、領有権問題が係争中の竹島(島根県)と尖閣諸島(沖縄県)がある。

① 竹島(島根県)

竹島は、島根県の南西部にある島。二つの急峻な岩石でできた島である。

目下、日本と韓国が領有権を主張しているが、韓国は 1 9 5 3 年武力行使のうえ占拠。現在は韓国の武装警察官多数が常駐し、実効支配を継続中。日本は、これに対し「不法占拠」とし抗議を続けている。

② 尖閣諸島(沖縄県)

尖閣諸島は、東シナ海南西部の5島(魚釣島・久場島・大正島・北小島・南小島)と3岩礁からなるわが国の島嶼群である。

中国と台湾が領有権を主張しはじめたのは、1968年(昭和43年)、尖閣諸島の海底から、石油や天然ガスなどの大量地下資源埋蔵の可能性が、確認されて以降である。

2 島嶼俳句への取組

具体的には、ご当地神奈川や関東方面を中心に、10の島嶼をピックアップしてゆきたい。

因みに、西之島(7月)・種子島(8月)・初島(9月)・猿島(11月)・松島(12月)・佐渡ヶ島(1月)・淡路島(2月)・伊豆大島(3月)・天草諸島(4月)・城ヶ島(5月)を毎月の句会の兼題として、挑戦してゆく計画だ。

漁期過ぎて番屋を残す魚釣島 一清

今年度方針 「パソコンを使いこなす会」

代表 林 洋

「パソコンを使いこなす会」では、パソコン操作でお困りの会員、パソコンをもっと上手に使いたい会員のためにノートパソコンを持ち寄って、みんなで問題点を解決することを目的として活動を進めています。現在、26名の会員登録があり、毎月第2、第3火曜日に、金沢地区センターに集まって次のようなことを勉強しています。

- 1) 基礎講座：手作りテキストを使用して年賀状・地図・ピラ等の作成
- 2) 実用講座：雑誌記事を参考にしたパソコン操作・インターネット検索技術の習得
- 3) 復習講座：市販の教材を使用してWORD・EXCEL 操作の復習

平成26年度は、Windowsの使いこなし、Exploreの使いこなし、Dropbox等クラウドサービスの利用、配布資料作成、写真の加工、グラフ編集、地図作成、Google Mapの利用等のテーマについて勉強しました。

今年度は、分科会設立から8年目に入ります。今まで累計42名の方が在籍し、その内、10名の方が当初から参加しています。

パソコンやインターネットは、現代生活の必須インフラです。世の中の動きに取り残されないように日々研鑽に努めて行きます。平成27年度はMOS(Microsoft Office Specialist)試験対策教材を使用してWORD・EXCEL操作の復習をします。MOSは、WORD、EXCELを使う技能レベルを計る指標とされており、我々も初心にかえて勉強します。今年度からの新入会員大歓迎です。

区民活動センターの「サポット」や並木コミュニティーハウス、能見台地区センターや街の先生での活動で、パソコンに関するさまざまなトラブルの解決に協力してきました。

また、“わ”の会の学習会、寺社を巡る会、懐かしの映画を見る会の場で会員の方々から具体的な質問があり、お答えすることも何度かありました。今年度は、このような個別相談に分科会として取り組んで問題を解決する能力を高め、会員間でも情報共有して活動範囲を広げることとします。

パソコンに関するトラブルのご相談を提起して頂き、問題解決の取り組みへのご参加をお待ちしています。

運営委員 新任の挨拶

瀬川 健次

この度伝統のある金沢区生涯学習“わ”の会の運営委員を拝命しました瀬川健次です。入会して3年大変楽しく参加させていただいています。リタイア致しました者にとりましては、会の活動に参加することにより、色々な知識、趣味を持たれた諸先輩の方々に接することができ、また沢山の未知なる世界を知ることが出来大変幸せに思ってお

ります。今般今井代表の下で少しでも「会」のお手伝いが出来ればと思ひまして運営委員をお引き受け致しました、微力ではございますが精いっぱい頑張りますので会員皆様のご指導の程宜しくお願い申し上げます。

運営委員 新任の挨拶

山腰 策次郎

今年度から“わ”の会の運営に参画させて頂くことになりました。成行きのままに引き受け、皆様のご期待に応えられるか今は少し反省しているところです。私は、これまで地元との接点がありません、これからの生活に少なからず不安を抱いていた折、友人より“わ”の会を紹介され、昨年5月に入会しました。この会は私の期待をはるかに超えるものであり、今では地元との接点も徐々に増えているように思います。又、会員の皆さんが会の発展と継続

のために日々尽力されている姿を見ると、この会の会員であることを誇りに思っています。今回、このような機会を得ましたので、会員の皆さんがこれまで培ってきた知識や経験を少しでも吸収し、私自身もスキルアップを図り、会の活動に微力ながら貢献したいと考えています。もちろん私自身もこれまで以上に“わ”の会を積極的に楽しみたいと思っています。どうぞ宜しくお願い致します。

運営委員 新任の挨拶

柴土 一廣

私は能見台に住んで30年。親の介護が一段落したことから、昨年入会し現在は第二の青春の真っただ中。加えて今般運営委員会への参加の誘いを受け、更に楽しみが増えました。何故なら以前より自分が例え微力でも何か一つ二つでも地域へのお手伝いできれば、最高の喜びと考えてきたからです。ここに来て仕事の再開が発生し、活動時間に制約が出てきましたが、「出来ることから始めて

よろしい」という優しい先輩諸兄のお言葉に甘えて、委員会の末席でこのチャンスを頑張ってみる気になっております。委員を引き受けるにあたって、先ずは人生の大先輩でもある会員の皆様のご意見、ご指導、そしてご叱咤等を頂くことが肝要。それが自分と会の成長の糧となると信じておりますので、是非とも気軽に声掛けをお願いできれば幸いに存じます。

運営委員 退任の挨拶

沓掛 勝利

会社を退職し、地図を片手に一人で金沢区の寺社を巡り終えた平成15年、「はまかぜ」で“わ”の会を知り、入会させて貰いました。一年経った平成16年、運営委員として会の手伝いを依頼され、「人前で話すことは除く」の条件で、委員を引き受けました。分科会「寺社を巡る会」、「懐かし映画を観る会」への入会に加え、第3の分科会との認識で運営委員会の交流を楽しんできました。趣味の分科会とは異なりボランティア活動ですか

ら、少しは会員の皆様のお役に立てたかな、との充実感を味わうことも出来ました。広報・会計・庶務を担当し、10年経った昨年退任の積りでしたが諸事情で退任希望者が多かった為1年間延期、本年で11年間の運営委員を卒業させて貰う事にしました。今後は学習会当日の補助者として協力しますので、同様のお付合いをお願いします。これまでの皆様のご支援、ご協力に感謝申し上げます。有難うございました。

運営委員 退任の挨拶

大門 利晴

入会したものの一度も学習会に出席せず、入会したことすら忘れていた頃、突然、運営委員就任要請の電話。考えてみるとそんな劣等生の会員を勧誘とは乱暴な話と思いつつ、固辞したものの、退職後の暇を弄んでいたこともあり、運営委員会入りしたのは6年前の事。そこで与えられた担当が広報。生来の怠け者のため、何時まで経ってもパソコン初心者。強制的な場を与えられないと覚えられないと思い、気楽に会報作成づくりのお手伝いをしてきたところ、当時の会報編集委員長が病を得て、その後任のお鉢が回ってきました。そ

こで本格的に先輩委員から会報編集法の特訓を得て、なんとか様になってきたかと思えるようになってきたのは最近の事です。曲がりなりにもワードを使えるようになったこと、そんな場を与えてくれた運営委員会に感謝です。加えて、殆ど寝に帰るだけだった金沢の地に多くの知己を得たことも運営委員会入りしたことも大きなメリットの一つでした。今回、私事にて運営委員を退任することになりましたが、“わ”の会会員の方へ是非、運営委員になってみることをお勧めします。



学習会の概要とアンケート結果

公開歴史講座『太田道灌と金沢』

会 場：能見台地区センター多目的室

講 師：盛本 昌広 氏

出 席：99名（ビジター21名）

会員出席率：58.6%

【概 要】

テーマ「太田道灌と金沢」に則した講義で、戦国時代の幕開け時期に、関東で活躍した武将・太田道灌(1432～1486)について、配布の史料を読み解きながら、我が街・金沢とのゆかりに重点を置いて、いつもの良く通る歯切れよい声で、時には白板を用いて、熱のこもった講義が行われた。今回の受講者総数は99名、内ビジターは21名で、会場は受講者で満員となった。これは「太田道灌と金沢」のタイトルが良かったためと推察される。ビジターアンケートにあるように、一般的には「金沢と道灌は関係なし」と思われている。そのため「え？」というサプライズがあった気がする。盛本氏の講義は、それに応えて、地域に的を絞っての解説であったが、なおかつ道灌の全体像もうかがえる展開だった。まず家系から説明。太田氏は丹波国出身で、道灌の5・6代前に関東に移住。久良岐郡太田とも関係がある。太田氏は上杉氏の家臣であるので、当然ながら足利氏の陪臣である。道灌の曾孫・康資の娘は徳川家康の側室・英勝院。

道灌は法名。本名は資長といわれるが不明。1455年に父・資清（法名は道真）から家督を継ぎ、扇谷上杉氏の家宰に着任。1457年に江戸城を築いた。

我が街金沢と道灌のかかわりは長尾景春の乱がきっかけ。長尾景春は父・景信の後を継いで山内上杉氏の家宰に付けなかったことから、1476年に上杉顕定に対して反乱し、鉢形城（埼玉県寄居町）で蜂起。道灌はその鎮圧に中心人物として出向き、1477年には江古田で景春方の豊島氏を破り、1478年には小机・鉢形を攻略した。同年、六浦（山内上杉氏の所領で長尾氏が領有）で景春方が蜂起したのに対して、道灌は小机城攻略軍の一部を金沢道を通して六浦に向かわせた。当時、上行寺東遺跡は浄願寺（龍華寺の前身）の付属施設で、急峻な崖の上であり、六浦の港を見下ろせた。浄願寺の本堂は崖の麓にあった。北側から崖の麓に入る地点は坂になっていて防衛に向いていた。景春方は上行寺東遺跡を城郭に取立て、寺を防御施設と

して利用した。しかし、戦いに破れ、浄願寺は焼失。このことは、常陸国高岡法雲寺所蔵の涅槃像の軸木に書かれた銘文にある「1478年に浄願寺（龍華寺の前身）兵火により焼失」と符合する。道灌方の六浦方面への進攻は、その途中の南区の宝生寺に残されている道灌名の禁制からも分かる。

『再昌草』に、「金沢文庫の印がある本を宗祇が道灌から借りて・・・」とある。金沢文庫本の散逸が起きたのは文明年間であるが、道灌が金沢文庫本を得たのは文明10年（1478）の六浦における景春方の乱の処理の過程であろうと推察される。

『梅花無尽蔵』に「江戸城香月亭に称名寺の西湖梅を移植」とあり、『太田家記』に「文明10年、道灌は夢で菅原道真と対面したが、翌朝人が来て道真自筆の天神像を見せられた。これは霊夢と思い、城の北に天神宮を造立し、梅数百本を植えた。宮の側にある亭を香月亭という」とある。この宮は平川門に入った先にあった平川天満宮で、道灌は宮の造営にあたり、境内に梅を植え、その中で称名寺の西湖梅を移植したのであろう。

また、龍華寺には鎌倉時代製作とされる不動明王画像があるが、『龍華寺略縁起』や『新編武蔵風土記稿』には、道灌がこれを寄進とある。

（金間 記）

【アンケート結果】 提出は会員、ビジターともに約半数

① 講演内容について

たいへん良かった 22名 5名ビジター 良かった 11名 3名
ビジター 普通 0名 1名ビジター つまらなかった 0名



講師 盛本 昌広 氏

- ・ 詳細な調査による話は分かりやすく説得力があり、満足感があつた(3)
- ・ 道灌と金沢との関係を深く知ることができ、身近に感じ良かった(9) ビジター
- ・ テキストから脱線した細かい話が面白かった(2)
- ・ 新しい研究が多く聞けてありがたかった(1)
- ・ 水系のこと、西湖梅のことが良かった(2)
- ・ 歯切れよく、内容も面白かった(4) ビジター
- ・ 現在の地名に照らし合わせた説明が大変分かりやすく、現地へ行く気になった(3) ビジター
- ・ 豊島家が道灌に攻められた事をもっと説明してほしい(1)
- ・ 論点の出典をあきらかにして論じられるのが愉快だった(1)
- ・ 道灌が金沢に関係があつたとは思っていてもいなかった。南太田付近に居住(別業)していたとは驚き(1) ビジター

② 盛本講師に希望する講演テーマについて

- ・ 金沢に関連のある歴史事実であれば何でも結構(2)
- ・ 北条実泰と釜利谷について(1)
- ・ 地形と水系をめぐる中世史(1)
- ・ 金沢の中世史もの(2)
- ・ 金沢区の海水浴場の盛衰について(松本家文書を引用した論文を書いている)(1)

- 中先代の乱〜護良親王などの話（1）
- 後北条を連続講義で詳しく（1）
- 横濱関係の話を伺いたい（1）
- 道灌と古河公方の戦いについて（1）
- 前田綱紀の金沢文庫本購入は初耳なので、それについて（1）ビジター
- 金沢区の歴史事項、事件を時系列的に数回にわけて説明（1）ビジター
- 金沢区の地名からわかる中世の歴史（1）ビジター

② 学習会運営について

たいへん良かった 23名 0名ビジター 良かった 12名 5名ビジター 普通 0名 1名ビジター
 良くなかった 0名 0名ビジター

- 資料を含めよく organize されていた（1）
- 多くの出席者が参集された中で上手に運営されていた（2）
- 知識の復習になった（「事典」以上の話は聞けなかった）（1）
- P-7にもなる資料はすばらしい。PCに取り込んで活用したい（1）
- 特に不満はないが、高齢者を講演前に並ばせるのはどうか（早めに準備して入れさせたら）（1）ビジター
- 終了間際、後部運営関係者の私語が耳障り（1）ビジター

④ “わ” の会について

- 今回のビジター参加者に“わ”の会入会案内を出したらどうか（1）
- 金沢区にこだわらず、たまには地域を越えた歴史も知りたい（1）
- 会員諸兄弟による講演を期待（1）
- 時系列に講演を企画してほしい。断片的では歴史を把握しづらい（1）ビジター



「懐かしの映画を観る会」

代表 佐藤 晃

平成26年度 23回 鑑賞会

<鑑賞日：2015. 3. 9>

小説家を見つけたら Finding forester

製作：2000年アメリカ 上映時間：136分

監督：ガス・ヴァン・サント

主演： ショーン・コネリー、F・マーリー・エイブラハム、ロブ・ブラウン

(あらすじ)

ニューヨークのブルックス。16歳の少年ジャマール（ロブ・ブラウン）は、バスケット仲間こそそのかされて公園に隣接するアパートの一室に忍びこむ。しかし、老人（ショーン・コネリー）がいたのであわてて逃げたが、部屋にリュックを置き忘れてしまう。中には、少年がひそかに書き記した創作ノートが入っていた。やがて、彼のもとに帰ってきたノートには、赤字でぎっしりと批評が書かれていた。批評を読んだジャマールは、老人に文章を学ぼうと老人のアパートに通い始める。州のテストで、抜群だったジャマールの成績に目を付けた私立の名門高校から学費免除の条件で転校を薦められ、転校する。文学のクロフォード先生（F・マーリー・エイブラハム）は口や

かましい先生で、ジャマールの文章はうますぎるといって、ジャマールが書いたのか疑っている。クロフォード先生は「23歳の時初めて小説を書いて高い評価を得たウィリアム・フォレスターという作家が、その後、作品をいっさい発表しない理由を考えよ」という宿題を生徒に出した。ジャマールは、クラスメイトで学長の娘のクリアからフォレスターの著作を借りて、表紙の写真からフォレスターがアパートの老人であることを知った。ジャマールはフォレスターから「完全なる信義の季節」というタイトルの付いた文章を渡され、タイプすることを命じられ、ここで書いたものは一切外部に出すなと約束させられたが。。。。。。

(解 説)

1997年に若者たちの友情と勇気を描いた「グッド・ウイル・ハンティング旅立ち」を監督したガス・ヴァン・サントが隠棲した老作家と文学に才能のある16歳の黒人青年の友情と青年の成長を描いた心温まる人間ドラマである。ジャマールは16歳だが、賢く生きている。本来は、知能も高く、運動神経も抜群の青年であるのに、学校のテストでは目立たぬようにいつも”C”の成績である。一方、バスケットでは全力を出してプレイをする。それはバスケットの名手は仲間一目置かれるからである。少年の文学の才能に目を留めたフォレスターは彼の文章に的確な評価を下

し、添削までして指導する。いつしか彼の文体も変わってきたので、高校の教師は彼の急速な成長を理解できず、剽窃だとして彼を告発する。この冤罪を晴らすための作文コンテスト発表のシーンは感動を呼ぶ。ジャマールを救うために出席したフォレスターは「家族の喪失」という小文を読み、それがジャマールの作と皆に話した時、ジャマールの疑いは晴れたのである。この映画のショーン・コネリーの存在感には圧倒される。ジャマールを演じるロブ・ブラウンは素直で知的な青年を好演した。

平成26年度 第24回 鑑賞会

<鑑賞日：2015. 3. 23>

人間の条件第5部 死の脱出・第6部 曠野の彷徨

製作：1961年 松竹、にんじんくらぶ 上映時間：188分

監督：小林正樹

原作：五味川純平

脚色：小林正樹、松山善三、稲垣公一

主演：仲代達矢、新珠三千代、川津祐介、岸田今日子、中村玉緒、高峰秀子、

(第4部のあらすじ)

関東軍に召集された梶は、ソ連と国境を接する青雲台地に向かった。そこで、影山(佐田啓二)に再会した。影山は少尉に進級していた。梶は上等兵になった。梶は相変わらず古参兵といざこざを起こし、これを心配した影山の計らいで土肥作業中隊に転属した。間もなく青雲台地部隊は玉砕し、影山は戦死した。梶は前線に戻り、終日、塹

壕を掘った。ソ連軍の戦車隊が近づいた。梶は部下の寺田を塹壕に引っ張り込み、その上を戦車のキャタピラが通り過ぎた。やがて、暗闇になった。梶は「生きている者は出てこい」と叫んだが答えはなかった。梶は戦友を求めて暗闇の中へ消えて行った。

(第5部・第6部のあらすじ)

ソ連国境でソ連軍の攻撃を受けた梶の隊は、梶、寺田、弘中伍長（諸角啓二郎）の3名を残して全滅した。3人はひたすら歩いた。やがて、川に出た。そこで避難民の老教師夫婦や慰安婦の梅子（瞳麗子）と竜子（岸田今日子）たちと出会い、梶の指揮のもとに歩き始めた。飢えと疲労で倒れていく者が多くなった。林のはずれで農家を見つけ、そこにいた豚を煮て休んだが、それもつかの間、民兵に襲われて竜子は殺された。生き残った6人はやっと道路に出た。平坦な地平線に開拓部落を見つけた。老人や女ばかりの避難民である。

突如ソ連兵が襲来した。女の「やめて、ここで戦争をしないで」の声に梶は降伏した。梶はソ連の強制収容所に連れて行かれた。収容所には桐原がいて捕虜を管理していた。寺田が大豆を盗んだことが発覚して桐原は寺田を殴った。寺田は高熱に苦しんだ。梶は寺田の代わりに作業をサボって食料をあさった。桐原は作業をサボった梶をソ連将校に告げ口をし、サボターシュの罰として重労働を言い渡され、森林軌道の撤去作業についた。収容所に帰った梶は、寺田が桐原に殴り殺されたことを知った…

(解 説)

50年前の公開当時、第1話の「純愛篇」から第6話の「曠野の彷徨」までの9時間余の間、極限状況に置かれた梶の生き方を見つめながら、(俺ならどうする)と自問自答していたころを思い出す。この映画に登場する梶はスーパーマンである。昭和18年頃から、当時の満州国策会社や、軍隊で、非人間的な行状を改めさせ、自分の良心

を貫き通そうとする人間がいたのだろうか。この映画は小林正樹監督の理想像であろう。主人公梶と同様北満の地で軍隊生活を送った小林監督は、五味川純平の原作を得て、不条理な軍隊組織に梶を通して挑んだのであるが、梶は力尽きて倒れる。死体の上に雪は降り続ける。9時間38分の大作のラストシーンはいつまでも記憶に残る。

平成27年度 第1回 鑑賞会

<鑑賞日：2015. 4. 13>

冬のライオン The Lion in Winter

製作： 1968年 アメリカ

上映時間：134分

監督： アンソニー・ハーヴェイ

原作： ジェームズ・ゴールドマン

出演： ピーター・オトゥール、キャサリン・ハップバーン

アカデミー主演女優賞（キャサリン・ハップバーン）

脚色賞、作曲賞（ジョン・バリヤー）

(あらすじ)

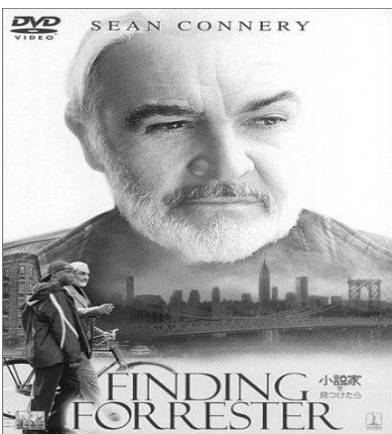
1183年のクリスマス近い日。イギリス国王ヘンリー2世（ピーター・オトゥール）は例年のごとく、幽閉中の王妃エレナー（キャサリン・ハップバーン）、長子リチャード（アンソニー・ホプキンス）次男ジェフリー（ジョン・キャッスル）、末子ジョン（ナイジェル・テリー）を集めた。これに、その年はフランス王フィリップ（ティモシー・ダルトン）とその姉でヘンリー2世の愛人のアレーヌ（ジェーン・メロー）も加わっていた。全員が集まると、ヘンリーは溺愛するジョンを嫡子とすると主張し、エレナーはリチャードを後継者にと言い、ジェフリーはフィリップと組んでジョンを仲間に加えようとする。エレナーも問題解決の鍵をフィリップと組むことと考え、リチャードをフィリップの部屋に行かせた。政治家として

の術策に長けたフィリップは先に来たジェフリーとジョンをカーテンの陰に隠し、リチャードの背徳を二人に示した。そこへ現れたヘンリーはフィリップの底意を知ってこれをなじった。だが、逆にフィリップはリチャードの墮落ぶり、ジェフリーの裏切り、ジョンの不実をことごとく王の眼前に並べた。傷心の王は屋上に出て孤独を噛みしめ、やがて3人の王子を地下牢に閉じ込めてしまった。そして、求婚したアレーヌの求めでヘンリーは3人の息子を処刑するため、自ら地下牢に入ってしまった。そこには息子の危機を知って、短剣を忍ばせて息子を助けに来たエレナーがいた。剣を手にして向かい合った親子。ヘンリーはリチャードを斬ろうと剣をふりかぶる……

(解説)

原作はジェームズ・ゴールドマン。ヘンリー一族の複雑な家族関係を通して、人間の権勢欲、陰謀などを描いた舞台劇の映画化である。監督はこれが監督2作目のアンソニー・ハーヴェイだが、2作目とは思えぬほどの重厚な演出で壮大な歴史劇を作った。中でも、ヘンリーを演ずるピーター・オトゥールと王妃エレナーに扮したキャサリン・ハップバーンの名優同士の対決は、熱のこもった演技のぶつかり合いで、圧倒される。3人の

息子がそれぞれの領地に戻り、王妃は舟で幽閉先の塔に戻っていく。川辺に佇んで王妃の舟を見送るヘンリー王の、吠えることを忘れた冬のライオンのような淋しい姿で映画は終わる。キャサリン・ハップバーンはこの映画で3回目のアカデミー主演女優賞を獲得した。キャサリンは1981年『黄昏』で第4回目のアカデミー主演女優賞を受賞しており、主演女優賞を4回得た女優はキャサリン・ハップバーンただ一人である。



「浮雲俳句会」抄録 NO.29

代表 北野 清市

《よい句・残る句》(その2)

2 独創的な句

俳句は「独創的な句」が一番です。世界に唯一つしかない、「独創的な句」を作ったときの喜びは格別です。

青蛙以上に勝る者はなく 三樹彦

作者は、長らく写真で俳句を表現することに専念し、“写俳亭”と号したこともある。掲載句も、スナップ写真の要領で対象を写し取っている。

一方、作者は、「俳句と秀画の三要素」として、ドッキリ（内容から訴えるもの）・ハッキリ（的確な表記）・スッキリ（洗練された句の美しさ）を力説している。これも、究極は独創的な句作のアドバイスである。

次に、自選の事例を三句挙げておきます。

つちふるやマイカー虎に豹変す

＜つちふる＞とは、気象用語の黄砂現象。俳句の季語でもあり、『歳時記』の＜つちふる＞を引くと、「霾（つちふる）」…傍題として、霾（ばい）・黄砂・黄塵・よなぐもりなどです。要は、中国北部やモンゴルの砂塵が、強風に吹き上げられ、偏西風に乗って、わが国まで飛来する現象です。

掲句は、＜マイカー虎に豹変す＞と、虎と豹の登場によって、一段と俳諧味を醸し出している。

タンカーのやうな靴脱ぎ帰省かな

＜帰省＞は、夏休みを利用して故郷に帰ることである。特に、故郷に帰る新入の大学生にとっては、限りなく嬉しく、懐かしいものである。またこれを迎える家族にとっても、喜ばしい一時である。

この点、憧れた大学に入り、初めての夏休みに＜帰省＞した大柄な彼は、クラブ活動に励んだせいか。足も一回り大きくなった。

その結果、＜タンカーのやうな靴＞を玄関に脱いで、＜帰省＞したのである。＜タンカーのやうな靴＞が、極めて独創的な発想で句全体を引き立てている。

ランドマークタワー真下の枯葎

＜枯葎かれむぐら＞は、雑草の草むらが枯れて、あわれげなさまになったときをいう。

＜ランドマークタワー＞は、横浜のみなとみらい地区に1993年開業。高さ296m（当時日本一）・70階建ての店舗やホテルなどが供用する多目的高層ビル。

片仮名の9文字、しかも、長々しい9音の外来語を使った独創的な句となった。

（以下 次号の《よい句・残る句～その3》へ続く。）

〔 秀作 〕

天賞

人類の冬芽みつめてマララ的眼 一馬

擬人法の独創的な秀吟。〈マララ〉は17歳のパキスタンの少女。武装ゲリラの十段により重体となったが、女性や子供の人権を訴え続け、昨年人権運動家として、ノーベル平和賞を受賞。

〈マララ〉の活動を、〈冬芽〉に例え、〈人類の冬芽みつめる〉と擬人法化した点が素晴らしく、これにより、ユニークな俳諧味を彷彿させてくれた。

地賞

臘梅や写経の穂先整へり 重九

二物衝撃の見事な写生句。〈臘梅ろうばい〉は、ロウバイ科の落葉低木。わが国へは江戸時代に中国から渡来。1月から2月初め頃、葉の伸びないうちに小枝の先に、外側の花卉は黄色。内側は紫色で香りのよい花が沢山咲く。

掲句は、二句一章により、上五の〈臘梅〉と、中七と下五の〈写経〉の様子が、見事に対比されている。違った見方をすれば、〈臘梅〉の華やかさに対し、〈写経〉の静寂さを際立たせている。

人賞

寒月とタワー向き合ふ無言劇 十九

天と地の大景の写生句。〈無言劇〉は、ものを言わない、身振り・表情を主とした演劇＝パントマイム。

タワーと云えば、近辺では、東京タワーと横浜のマリントワーが連想される。しかし、この場合、ご当地横浜のマリントワーとしたいものだ。

いずれにせよ、天の〈寒月〉と地のマリン〈タワー〉が、対峙して、パントマイムを演じているのである。

〔 特選 〕

夕時雨漁船運河に灯を連ね 勇平

二人旅小樽運河の寒昂 国眼

冬日浴び野島運河に舫ひ舟 一柁

工場の冬燈映して運河かな 一幸

南京梅未の刻に艶増せり 祥代

潮の香に気高く咲けり野水仙 和女

大寒の空も心も透けにけり 二祥

海に立つ鳥居火のごと寒落暉 とも女

〔 秀作 〕

天賞

嫁ぐ娘に母の想ひや梅の衣 和女

叙情詩の典型句。〈母の想ひ〉が梅模様の着物に転化した秀作。

いつまでも、〈梅〉のように清楚で気品のあるようにと願う〈母の想ひ〉が、〈嫁ぐ娘〉の着物に託されている。ポイントは〈梅の衣(きぬ)〉である。早春に嫁ぐことが決まったお嬢さん。その時の晴れ着。

母親は、〈梅〉の花をあしらった手作りの晴れ着にしようと決めたのである。それは、手書きの咲き初めた白梅であった。何日もかけ、精魂込めて作った晴れ着である。

地賞

雛飾る親子の会話はずみみて 好童

雛飾りを巡る親子の叙情詩。3月3日は桃の節句。雛を飾り、女の子の節句として祝って来た。

この桃の節句の準備のための〈雛飾り〉。女性は楽しく、忘れ難いものである。親子の心情・生き様までが、雛飾りの中に漲っている好吟である。

人賞

添枝に樹齡ゆだねし臥竜梅 祥代

三溪園での囑目吟。〈三溪園〉は、横浜の本牧にある実業家・原富太郎の作った日本庭園である。

この三溪園の南西方向にある初音茶屋脇の梅林に、掲句の〈臥竜梅〉がある。この〈臥竜梅〉。花は薄桃色。幹は低く地に這い、枝が垂れて、地に着いたところから、また根が出る珍しい〈梅〉の品種。

古木になって、〈添枝〉の補助により、〈樹齡〉を〈ゆだね〉ているのである。一見の価値がある！！

[特選]

富士からの雪解たゆたふ酒匂川	一馬
雪代をあつめて猛し酒匂川	とも女
酒匂川水の中にも猫柳	三旦
梅が香や爆笑の渦猿の芸	国眼
春の夢羊百頭むらがりて	勇平
麦踏めば土の命よ高嶺星	十九
義経の腰越状や白魚飯	重九
愛しさを乗せてふんわり春の雲	一椀

88回例会 H27年3月29日

[秀作]

天賞

筆先の釉に亀甲の春染めり 和女

創造の喜びが伝わる佳句。〈釉ゆう〉は、うわぐすり・釉薬(ゆうやく)のことである。粘土で作った器を、そのまま焼くと素焼きであるが、釉薬を素焼きに付けると、様々な色や模様が出来上がる。

〈亀〉は、「鶴は千年・亀は万年」といわれ、夫婦円満の象徴であり、長寿のシンボルでもある。

掲句は、おそらく“夫婦茶碗”だと思う。素焼きの夫婦茶碗に、六角形の〈亀甲〉模様の〈釉〉を塗り、〈春〉らしく仕上げたのである。

大小の夫婦茶碗に付ける〈亀甲〉模様も、その大きさや色具合に工夫を凝らし、そこから、夫婦円満さまでが、伝わる茶碗を創り出したのである。

地賞

亀鳴くや地球蠢く日はいつぞ 勇平

大地震の予知に関する想像句。〈亀鳴く〉＝亀は、発声器官がないので鳴くことはない。これは想像上の季語。〈蠢(うごめ)く〉は、小さな生き物が、モグモグと動くさまである。

この点、鳴くことのない亀が鳴くと、〈地球〉が〈蠢く〉のではないか？ 日本列島に南海大地震の発生などが予知されている今日。その日はあるのか？ ないのか？ その〈日はいつぞ〉と危惧されるのである。

人賞

残雪の山河まばゆし信濃川 とも女

兼題句の中における代表格の佳吟。〈信濃川〉は、総延長367キロ、日本最長の河川。この〈信濃川〉＝長野県内は「千曲川」（214キロ、信濃川の58%を占める支流）と呼ばれている。

掲句は、兼題である〈信濃川〉の特選以上の6句中における代表格の句である。これらの句は、「春風連れて」・「幾川連ね」・「春霞」・「のたりのたりと」・「残雪の山河」・「雪解肥りて」と、いずれも、“春の季題”に満ち溢れている。

Spring has come.(スプリング ハズ カム＝春が来た)。every thing is waking(エブリング ウエーキング＝万物は目覚めた)、from its long sleep(フロム イツ ロングスリープ＝その長い眠りから)のである。

何れにせよ、〈残雪の山河まばゆし〉と、春の季節感が、句全体に生き付いている好吟だ。

〔 特選 〕

野に里に春風連れて信濃川	一椀
雪代の幾川連ね信濃川	二祥
春霞絹をまとひて信濃川	祥代
春霞のたりのたりと信濃川	岩介
一条の雪解肥りて信濃川	一紀
当番の箒の先の余寒かな	一幸
モノレール曲がれば富士の春深雪	十九
ウクライナ亀鳴く日々の早かれと	一馬



「ふれあいの道歩こう会」

代表 小俣 悦男

独自コース 22 番 「新春の鎌倉を歩く」 (通算 105 回)

実施日：平成 27 年 1 月 16 日(金) 天候：快晴

コース等：歩行距離 約 6 km 歩行時間 3 時間 20 分 参加者：16 名

コース所在地：神奈川県鎌倉市

雨のため 1 日順延となった独自コース 22 番、通算で 105 回の「新春の鎌倉を歩く」は歩行距離 6 km と「ふれあいの道歩こう会」としてはかなり軽めなコースであった。さすが鎌倉、平日にも拘わらず鶴岡八幡宮、銭洗弁財天や若宮大路などかなりの人出であった。新春でもあるので足慣らしを兼ねた神社仏閣めぐりは午前中で切り上げ「新春を寿ぎ」を鎌倉駅近くで行い、本年の安全で楽しい山歩きを誓い合った。

コースタイム：J R 北鎌倉駅西口出発 8:55⇒ 浄智寺 9:15⇒ 葛原岡神社 9:40⇒ <体操> 頼朝像 9:50⇒ 銭洗弁財天 10:30⇒ 佐助稲荷 10:45⇒ 寿福寺 11:20⇒ 鶴岡八幡宮 12:00⇒ 若宮大路⇒ 鎌倉山下飯店 12:30⇒ 14:20 解散

源氏山：かつて源義家が後三年の役に際して、山頂に白旗を掲げて戦勝を祈願したと言い伝えられる源氏山。白旗山または旗立山とよばれたこともある。

佐助稲荷神社：源頼朝は父、義朝を平清盛に殺され、いつか平家を滅ぼすことを念じて文武の鍛錬を続けた。その頼朝の夢枕に「われは鎌倉に鎮座している稲荷神なり」と名乗る老翁の姿をした神様が立って挙兵をうながし、立つべきときを教えたと伝えられている。源頼朝は宿敵、平家を滅ぼしたあと、お礼として社殿を建てた。それが佐助稲荷神社である。当時の頼朝の呼び名であった「佐殿(すけどの)」から来たとも、「佐殿」を助けたからだとも言われている。またかつてはこの辺りは佐助ヶ谷と言った。佐助稲荷神社は源頼朝を歴史の大立て者に押し上げたことから、出世運・仕事運をアップさせる神様とされている。

春まぢか雑踏鎌倉陽がこぼる一税



源氏山の頼朝像の前で



佐助稲荷

「ふれあいの道歩こう会」実施概要 NO 9

独自コース 23 番「伊豆半島の付け根 葛城山・発端丈山」(通算 106 回)

実施日:平成 27 年 2 月 19 日(木) 天候:晴れ時々曇り

コース等:歩行距離 約 17km 歩行時間 5 時間 40 分 参加者:17 名

コース所在地:静岡県沼津市・伊豆の国市

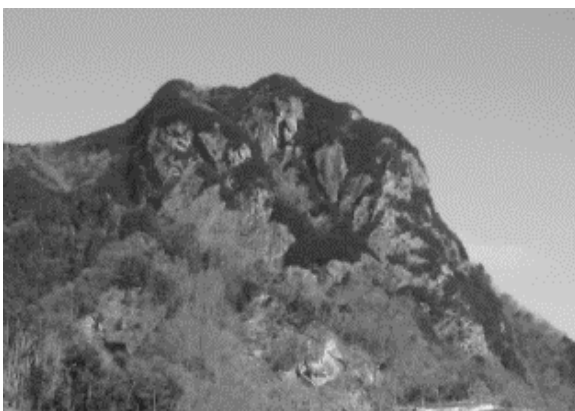
往路:JR 横浜駅 7:00 ⇒ 三島駅 8:34 伊豆箱根鉄道三島駅 8:47 ⇒ 大仁駅 9:16

コースタイム:大仁駅 9:25 ⇒ 9:51 城山登山口(準備体操)10:02 ⇒ 11:00 城山 11:10 ⇒ 11:32 城山分岐(昼食)12:00 ⇒ 13:15 葛城山(集合写真撮影、オレンジタイム)13:40 ⇒ 14:19 鶯谷 14:25 ⇒ 14:56 発端丈山 15:05 ⇒ 16:10 三津シーパラダイスバス停

帰路:三津シーパラダイスバス停 16:17 ⇒ 伊豆箱根鉄道長岡駅 16:40 ⇒ 同駅 16:50 ⇒ JR 三島駅 17:11 JR 三島駅 17:29 ~ 横浜駅 19:13

ご存知ですか!伊豆の国市大仁の城山(じょうやま)は元読売ジャイアンツ監督の長嶋茂雄氏が現役時代(30代後半)に自主トレを行ったことで知られている。城山の鬱蒼とした木々とゴツゴツした岩に覆われた山道は、瞬発力強化に役立った。長嶋が宿泊した大仁ホテルの「富士の間」ではバッティングゲージを張って打撃練習に没頭、打ち損じたボールの後は今も柱に残っている。なお、城山のそそりたつ岩壁はロッククライミングの名所としても知られており、この日も2組のクライマーが登頂を試みていた。

コース案内:伊豆箱根鉄道の大仁駅下車 25 分、城山の狩野川脇の登山口から城山に登頂したあと葛城山に登頂し、さらに発端丈山山頂を経て、駿河湾に抜けるルートを歩いた。3山のうち一番高い葛城山でも 452mの低山ながら三山の登り下りと約 17kmと距離も少々長めなことで中高年のハイキングとしてはきつい部類に入る。このコースは 3 山山頂からの富士山の眺めに定評があるが、この日は曇っていたため期待は裏切られた。



大仁の城山(標高 342m)



発端丈山山頂(410m)からの三津浜と淡島

春陽押す伊豆の山々三万歩一杣

独自コース 24 番「渋沢丘陵 頭高山から震生湖」 (通算 107 回)

実施日：平成 27 年 3 月 20 日(金) 天候：一日中曇り

コース等：歩行距離 約 14km 歩行時間 約 5 時間 20 分 参加者：13 名

コース所在地：神奈川県秦野市

コースタイム：小田急線 渋沢駅 9:00 集合 準備体操後、渋沢駅 9:15 スタート ⇒ 泉蔵寺 (トイレ) 9:50 ⇒ 白山神社 10:00 ⇒ 頭高山(集合写真撮影)10:40 着、10:55 発 ⇒ 分岐 11:10 ⇒ 枳窪神社 12:05 着、(昼食) 12:30 発 ⇒ 震生湖 13:15 着(集合写真撮影、コーヒータイム) 13:50 発 ⇒ 白笹稻荷神社 14:15 着、14:30 発(集合写真撮影) ⇒ 今泉名水桜公園 ⇒ 秦野駅 15:05 着、秦野駅で解散

ご存知ですか！：震生湖は大正 12 年(1923)9 月 1 日の関東大震災の際にできた。地震動によって付近の丘陵が 200m にわたって崩落し、市木沢 (いちきさわ) 最上部をせき止めたことから、その川筋と窪地が湖となったもの。流入河川・流出河川ともに存在せず、地下水脈で周囲の水系とつながっている。自然湖としては日本で最も新しいといわれている。周囲約 1000m、水深最深 10m 平均 4m。湖畔には、震災後調査に訪れた東大の物理学者寺田寅彦作、「山さけて成しける池や水すまし」の句碑がたっている。

コース案内：頭高山と震生湖周辺には桜の木が多く見られた。コースは全般にわたり上り下りも比較的ゆるやかで、晴れていれば丹沢山塊が目の前に展開する、家族連れに最適な里山コースといえる。シーズンとしては、桜、紅葉の頃がお勧めである。

花曇り穏やかなりし震生湖一税



震生湖



湖畔の寺田寅彦の句碑

独自コース 25 番「武蔵御陵」 (通算 108 回)

実施日：平成 27 年 4 月 9 日(木) 天候：曇り

コース等：歩行距離 約 13km 歩行時間 約 4 時間 40 分 参加者：26 名(うちビジター 9 名)

コース所在地：東京八王子市

交通：(JR 東神奈川駅 7:05 集合) 7:17 ⇒ 8:17 八王子 8:22 ⇒ 8:29 JR 高尾

西東京バス 高尾駅 ⇒ 霊園前 8:50

コースタイム： 霊園前 9:00 ⇒ 宗閑寺 ⇒ 北条氏照墓 ⇒ 八王子城ガイダンス施設 9:50 ⇒ 八王子城跡見学(ガイド付~11:30) ⇒ (霊園前~霞ヶ丘住宅前バス利用) 多摩森林科学園 (12:40~昼食~14:00) ⇒ 武蔵御陵 (14:15~15:00) ⇒ JR 高尾駅 15:15 着 (解散) JR 高尾駅

武蔵御陵墓地：昭和 2 年(1927)大正天皇の陵所として選定された。現在は八王子市長房町・甘里(とどろ)町・元八王子町にまたがる 46ha、ここに大正天皇多摩陵、貞明皇后多摩東陵、昭和天皇武蔵野陵及び香淳皇后武蔵野東陵の 4 陵がある。

八王子城：北条早雲の曾孫北条氏照(天文 9 年 1540~天正 18 年 1590)によって急峻な地形を生かし天然の要害として作られた戦国時代末期の典型的な山城。昭和 26 年(1951)に国の史跡指定を受け、平成 18 年(2006)には日本 100 名城に選定された。広さは 159ha(東京ドームの約 112 倍)、本城である小田原城の支城であり、関東の西に位置する軍事上の拠点であった。八王子の名前の由来は北条氏が八王子神社を崇拝し祀っていたことからきている。

多摩森林科学園：森林環境の動植物の生態に関する研究施設。56ha の広大な園内には研究成果を展示す「森の科学館」、600 種 6000 本の樹木が植栽されている「樹木園」、江戸時代から伝わる栽培品種や国の天然記念物に指定された桜のクローンなど全国各地からの桜約 250 種約 1500 本が植えられた「サクラ保存林」がある。

花の舞い歓喜の響き山わたる一税



昭和天皇武蔵野陵



多摩森林科学園の桜

掲載記事並びにコースに関わるお問い合わせは下記にお願い致します。

小俣 悦男 ○メールアドレス：e-omata@mx2tten.ne.jp ○電話番号：045-782-8147 定例概要に載っている写真は全て“わ”の会のHP「ふれあいの道独自コース」にカラーで写真が載っています。

「古文書を読む会」からのたより

代表 真田 雅行

幕末開国の可否をめぐる諸侯等の意見書

“泰平の眠りをさます上喜撰 たった四杯で夜も眠れず”

これは、幕末に黒船が浦賀に来航した時に詠まれた狂歌である。「上喜撰」（じょうきせん）というのは当時のブランド緑茶の名前で、お茶を四杯飲んで夜眠れなくなったという歌に、浦賀に四隻の蒸気船（黒船）が来たために、夜も眠れないほどの騒ぎになった、という意味を掛けて詠んだものである。

この黒船到来は当時の幕府にとっては大変なショックで、国家の一大事（幕府崩壊）の危機に立ち至った。ペリー艦隊が東京湾に侵入して威嚇による開国を迫ったからである。

場合によっては艦砲射撃による江戸城攻撃に繋がり、緊張と恐怖は一気に高まった。

幕府の現有の武器では性能のすぐれた飛距離の大きい蒸気船からの大砲の攻撃には対抗出来ない。それまでの日本人は、「元寇」で神風が吹き元軍を追い払ったと信じており、元軍は騎馬軍団を海に囲まれた日本の侵略には使えないから日本は国防上世界一安全で、鎖国により交易を制限し、人の出入りを禁止しても大丈夫だ、と思い込んでいた。

家康は貿易は認めていたが、三代家光時代になると、たとえ戦争等の強圧的手段によって布教を広め植民地化してもそれは「正義」だとするカソリックキリスト教が百姓一揆と結びついた「島原の乱」の恐ろしさから、布教はせず貿易だけを求めたプロテスタントのオランダのみを欧米の交易相手として認め、且つ長崎の人工島「出島」に封じ込め、一般の日本人との接触を一切禁止した。以降この鎖国を祖法とし、その順守と徳川家の安泰が何にも増して優先された。当時のカソリック教は今日のそれとは違っていた。

260年に及ぶ泰平の世では、インフラは整備されず、技術の進歩やスピードの追及はストップした。逆に技術革新が行われて武器が強力になれば、それだけ徳川幕府を倒す勢力が出てくる可能性が高まるからであり、道路整備をしないのも地方の敵が江戸に攻め上がってくるスピードを上げさせないためであった。

こうしてペリー来航以後の日本は世界一安全な国から、艦砲射撃によって海のどこからでも攻められる海に囲まれた世界一危険な国になったといえよう。一方で鎖国により国内では爛熟の江戸文化の花が咲いたが、基本的な土農工商の身分制度、農業を基本とする貴穀賤金の風潮、尊皇に繋がる朱子学を国是とするなど幕末には内部体制の矛盾が爆発寸前にまで増長しており、收拾出来ない程混乱していた正にその時期にペリーが来た。

しかしペリー艦隊は何の前触れもなく突然現われた訳ではない。

幕府は事前にペリーの来航を知っていた。

既に黒船来航の16年前（天保8年 1837）に日本の漂流民を送ってきたアメリカ商船モリソン号は日本の開国を求めてきたが、幕府は近海に出没する諸外国船に対し「異国船打払い令」を出しており、これに基づき逆に砲撃し撃退した。しかるに天保13年（1842）アヘン戦争で鎖国の清国がイギリスに敗れる

と、幕府はあわてて打払い令を「薪水給与令」に改め、燃料や水を与えることで一刻も早く帰ってもらう、つまり外国船を穏やかに退去させる方針に切り替えた。

弘化元年（1844）にはオランダ国王から世界情勢の説明と共に「そろそろ開国政策に転じた方がよい」という忠告まで受けていたが、祖法の鎖国政策にこだわって開国通商は拒否した。更にまずいことに弘化3年（1846）アメリカが東インド艦隊司令長官で温厚なピッドルを派遣し、穏やかに正式友好関係を申し入れてきたのに、どういふことが軍人の彼は殴られて追い返されたのである。その結果は当然本国に報告され、これが7年後アメリカをして強引で乱暴なペリーを派遣して恐喝する外交に繋がった。

それでも時の幕閣の筆頭者中阿部正弘は外圧による国家一大事への対応として、岩瀬忠震や川路聖謨、勝海舟その他の開明的な人材を登用し、更にそれまでの方針を変えて、諸大名、幕臣、藩士、学者、庶民から広く開国についての意見を求めたのである。

このことははからずも幕府権力の弱体化と祖法に対するふらつきを暴露したが、事態はそこまで緊迫化していたという証左でもある。

諮問に対する回答意見書は719通、このうち大名から250通、幕臣423通、藩士15通、学者22通、庶民9通である（『逸蛮彙議』てきばんいぎ）。

次の表はペリー来航時の嘉永6年（1853）及びハリス総領事との下田条約と日米修好通商条約締結時の安政4～5年（1857～8）の諸藩の意見書の変化を示したものの。

漂流したジョン万次郎が11年後に日本に帰国してから2年半、鎖国令により出入国は依然禁止されていたが、彼が老中阿部正弘から嘉永6年（1853）旗本に列せられ、御普請役格（20俵2人扶持）に登用されたのは正に幕府黒船対策の一つであり、幕府が彼から生のアメリカ情報を得るためであった。

回答中総じていえることは、現状維持の発想を根底に置き、攘夷もままならずということならば、避戦策による拒絶論をとるほかはなく、徐々に現実の情勢に押される形で、ともかく開国を許容する以外に方法はないということが大勢となる。

拒絶論が減り許容論が増えていることはこれを如実に物語る。

農民の中には海岸防備の必要を痛感し、二度目のペリー来航時、老中阿部正弘に駕籠訴（直訴）を決行した者もいた。傑作なのは一般の意見の中には異国船に遊女を送り込み、油断させ、放火して逃げるといふものや、ロシアとアメリカは隣国同士で薪・水の補給や食料を求めているのであって、植民地支配の野望は持っていないから、この二国と手を組んでイギリスやフランスと対抗すべし、という極めてまともな意見を提案した福岡藩主もいた。こうして黒船の波紋は、政治的のみならず社会的にも支配層・被支配層の区別なく、好奇心と恐怖心を織り交ぜつつ波及していった。

以下に（1）開国・通商要求に関する諸藩の意見書推移一覧（ペリー来航時とハリス総領事の通商条約締結要求時の2回）、及びペリー来航時の（2）金沢藩主・前田斉泰、（3）肥前藩主・鍋島斎正、（4）旗本・勝海舟（5）佐倉藩主・老中堀田正睦、の意見書および訳文を示し参考に供したい。

（1）2回にわたる諸藩の意見書推移

	藩名(藩数、合計54藩)	1853年 (嘉永6)	1857-8年 (安政4-5)	藩名(藩数、合計34藩)
意見なし	明石・尾守・広島・鹿港(4)	7.4%	20.9%	弘前・福島・笠間・穴戸・岩槻・浜松・広島(7)
開戦論 または攘夷論	盛岡・水戸・桑名・津・福井・松江・佐賀・柳河(8)	14.8	8.8	河越・高知・萩(3)
①拒絶論 (平和的処置をなす)	仙台・米沢・二本松・麻生・飯野・飯田・松代・川越・沼津・名古屋・金沢・園部・龍野・岡山・萩・津和野・徳島・宇和島・今治・高知・森・久留米・熊本・宇土・鹿児島・佐土原(26)	48.1	47.0	仙台・久保田・水戸・鳥取(4)
②許容論	佐倉・忍・懸川・岩村田・村松・新發田・小浜・八幡・津山・鳥取・丸亀・吉田・中津・岡(14)	25.9	11.7	盛岡・会津・矢田・忍・長岡・高崎・西尾・桑名・彦根・小浜・明石・姫路・津山・高松・浜田・福岡(16)
積極的的交易論	彦根・福岡(2)	3.7		福井・徳島・柳河・鹿児島(4)

注：本庄栄治郎『日本経済思想史研究』より。
開国をめぐる藩論の変化 拒絶論が減り、許容論が増えている。

(2) 金沢藩主・前田齊泰

八月四日
 松平加賀守
 不肖私茂得夫利害等何分并兼申候
 乍去存者不申上候及却而奉入候義脚
 心底奉申上候アリ書翰被見仕候迄全ク
 合神茂致候義脚之短者如何ニモ難察
 候得共先書翰之面ニ而者敢而無到成節トモ相聞
 不申候而無味打私等ニ相成候而ハ暴儀御仕向
 二茂相可申候且ハ構之引出
 候基也奉存候
 二付重而渡来之由先程ニ御取扱可然候支那
 和蘭陀之外ハ交易御嚴禁之事之段
 御先代之御託比度アリカ人御取扱ニ御座
 候時者イギリス人等之諸國ヨリ道々難題
 可申旨茂難許候得者只今之如ニ而者嚴二
 打私之御慮廣ハ当然ニ可有御座候其久敷
 大國ニ浴し候人心當時之勢海内可致
 難儀打私申儀少々無覺東方ニ奉存候
 候之間指當り之如ハ先寛容之御取扱ニ成置
 其内ニ諸國海岸等之御手当ハ武備嚴重
 士風御引立実備御整候上ニ而彼力模倣次第ニ
 茂神武之御勇氣を御示可被御座与奉存候
 右等之趣不願御意奉申上候此上者乍
 恐上之御判断ニ可被為在御儀奉存候以上

所
 上二者征夷大將軍之御職任被為在候御儀ニ
 候得者征夷之二字御眼目可ト奉存候御
 神州之為形大海中ニ屹立万古独立敢而
 夷狄之為二不犯事者偏ニ御武威海外ニ輝キ
 候故ニ御座候方今昇平久敷士氣不振夷
 共鬪を窺種々願分間敷儀共を申立万一
 猖獗据候之振舞事御国体ニモ致閑
 係難關置儀ニ茂相及候半者断然御打
 払ニ御決し昇平偷情之士氣起御
 一杯本来固有之義御挽回被遊国家盤
 石之基を御固被遊度儀与奉存候以上
 八月十四日
 松平肥前守
 齋正

(3) 肥前藩主・鍋島齋正

八月四日
 松平加賀守
 不肖私茂得夫利害等何分并兼申候
 乍去存者不申上候及却而奉入候義脚
 心底奉申上候アリ書翰被見仕候迄全ク
 合神茂致候義脚之短者如何ニモ難察
 候得共先書翰之面ニ而者敢而無到成節トモ相聞
 不申候而無味打私等ニ相成候而ハ暴儀御仕向
 二茂相可申候且ハ構之引出
 候基也奉存候
 二付重而渡来之由先程ニ御取扱可然候支那
 和蘭陀之外ハ交易御嚴禁之事之段
 御先代之御託比度アリカ人御取扱ニ御座
 候時者イギリス人等之諸國ヨリ道々難題
 可申旨茂難許候得者只今之如ニ而者嚴二
 打私之御慮廣ハ当然ニ可有御座候其久敷
 大國ニ浴し候人心當時之勢海内可致
 難儀打私申儀少々無覺東方ニ奉存候
 候之間指當り之如ハ先寛容之御取扱ニ成置
 其内ニ諸國海岸等之御手当ハ武備嚴重
 士風御引立実備御整候上ニ而彼力模倣次第ニ
 茂神武之御勇氣を御示可被御座与奉存候
 右等之趣不願御意奉申上候此上者乍
 恐上之御判断ニ可被為在御儀奉存候以上

上二者征夷大將軍之御職任被為在候御儀ニ
 候得者征夷之二字御眼目可ト奉存候御
 神州之為形大海中ニ屹立万古独立敢而
 夷狄之為二不犯事者偏ニ御武威海外ニ輝キ
 候故ニ御座候方今昇平久敷士氣不振夷
 共鬪を窺種々願分間敷儀共を申立万一
 猖獗据候之振舞事御国体ニモ致閑
 係難關置儀ニ茂相及候半者断然御打
 払ニ御決し昇平偷情之士氣起御
 一杯本来固有之義御挽回被遊国家盤
 石之基を御固被遊度儀与奉存候以上
 八月十四日
 松平肥前守
 齋正

(4) 旗本・勝海舟

八月四日
 松平加賀守
 不肖私茂得夫利害等何分并兼申候
 乍去存者不申上候及却而奉入候義脚
 心底奉申上候アリ書翰被見仕候迄全ク
 合神茂致候義脚之短者如何ニモ難察
 候得共先書翰之面ニ而者敢而無到成節トモ相聞
 不申候而無味打私等ニ相成候而ハ暴儀御仕向
 二茂相可申候且ハ構之引出
 候基也奉存候
 二付重而渡来之由先程ニ御取扱可然候支那
 和蘭陀之外ハ交易御嚴禁之事之段
 御先代之御託比度アリカ人御取扱ニ御座
 候時者イギリス人等之諸國ヨリ道々難題
 可申旨茂難許候得者只今之如ニ而者嚴二
 打私之御慮廣ハ当然ニ可有御座候其久敷
 大國ニ浴し候人心當時之勢海内可致
 難儀打私申儀少々無覺東方ニ奉存候
 候之間指當り之如ハ先寛容之御取扱ニ成置
 其内ニ諸國海岸等之御手当ハ武備嚴重
 士風御引立実備御整候上ニ而彼力模倣次第ニ
 茂神武之御勇氣を御示可被御座与奉存候
 右等之趣不願御意奉申上候此上者乍
 恐上之御判断ニ可被為在御儀奉存候以上

(5) 佐倉藩主・老中堀田正睦

堀田備中守
 彼ハ堅牢之軍艦有之我所用之船は短
 小軟弱、是彼二不及之、彼ハ大炮二精、我艦械
 不整、是不及之、彼ハ強壯、我艦を磨口、
 我ハ治國心自分武備薄、是彼二不及之、
 右三ツ之勝算無之間、先交易に聞届、十
 年も相立未々迄も武備嚴重ニ相立申、尤夫
 直固益ニ相成候ハ、其便交易候節も可然成

小普請組松平美作守支配
 勝麟太郎
 江戸近海御備嚴重ニ相立、御台場等取
 立、御儀候之儀御世話有之、下ノ情
 上江達し様仕候、交易を許し軍艦
 製造致し、此方より諸國へ乘入交易可致
 候而、先方より此方へ乘入申開敷、御座之面々
 厚御世話有之度、硝石武器製作等之事

会員の動静

1. 『横浜金沢を詠う』 俳句の部 “わ” の会 会員の多数の方が受賞されました。

横浜金沢俳句・短歌ポスト実行委員会

「俳句短歌制度」第12回表彰式(平成26年10月31日)

俳句の部

横浜金沢文化協会理事長賞

(地位) ひもすがら蝉のコーラス称名寺 小俣 悦男

横浜金沢観光協会会長賞

(天位) 不動池しじま切り裂く夏燕 小幡 友子

(地位) 釜利谷の闇夜に白く山法師 柴崎 幸治

第15回金沢区民俳句(吟行)大会(平成26年10月26日,長浜公園界隈)

会長賞

(天賞) 覗き口初鴨見るや利尾の忌 大谷 祥二

(天賞) 滴りは時を刻むや磨崖仏 大谷 祥二

(地賞) おんぶの子银杏黄葉を見上げをり 鈴木 勇夫

(人賞) 三山の万緑担ぎ称名寺 小幡 友子

(特選) 野島より安房へと走る青嵐 田中 徳明

(佳作) 木の実独楽一人舞台のスピルかな 鈴田 祥代

(佳作) 魚はねる色鳥憩ふ気水池 兒玉 國宏

(佳作) 黄落や英世の見遣る海遠し 小幡 友子

会員選(ベストテン)

おんぶの子银杏黄葉を見上げをり 鈴木 勇夫

初鴨の水脈曳き合ひて気水池 北野 一清

秋惜しむ生命つなぎて髻帖飛ぶ 柴崎 幸治

黄落や英世の見遣る海遠し 小幡友子

三山の万緑担ぎ称名寺 小幡 友子

野島より安房へと走る青嵐 田中 徳明

釜利谷の闇夜に白く山法師 柴崎 幸治

2. 「懐かしの映画を観る会」

代表 佐藤 晃さんのコラム

(～懐かしの映画とスターたち～)
が『かな・インフォメーション』4月号より6回に分けて、その映画にまつわるスターについて揭示されます。

ご一読を!

「風と共に去りぬ」が製作されたのは1939年である。しかし、当時アメリカ映画は敵国映画とみなされ、日本での公開は1952年まで見送られた。上映された「有楽座」では、3ヵ月で28万5千人を動員する大ヒットとなった。まだ戦災の傷跡が残る耐乏生活を強いられていた観客は、スカールレット・オハラが南北戦争で絶えて失いながら、「明日は新しい風が吹く。明日を信じて生きよう」と叫ぶ姿に、希望を託したのである。

「風と共に去りぬ」はアメリカ南北戦争を題材としたマーガレット・ミッチェルのベストセラー小説の映画化である。原作は出版されたその日のうちに5万部、年末までに100万部の大ベストセラーになった。独立プロデューサーのディヴィッド・O・セルズニックの手の打ち方は早く、出版1ヵ月後には映画化権を5万ドルで獲得したといわれている。

ディヴィッドはヒロイン、スカールレット・オハラの中に誇り高い情熱的な永遠のヒロイン像を見、人選には特に慎重を期した。1000人以上の女優が候補に挙がり、大物女優もスクリーン・テストを受けている。ディヴィッドには、レッド・バトラーを4年間待たせさせるような魅力あふれた女優が必要だったのである。

ヒロイン不在のまま1938年12月10日の夜、ディヴィッドは古いセットを利用したオープンセットに火をつけた。映画のクライマックスとなるアトランタ炎上のシーンである。そこへ、ディヴィッドの兄マリオンが、美女を伴って現れ、「あなたのスカールレットをお連れした」とヴィヴィアンを紹介した。これは当時ヴィヴィアンと愛人関係にあったローレンス・オリヴィエのエージェント、マリオンがディヴィッドの兄だった縁によるものである。ディヴィッドはひと目で彼女を気に入り、スクリーン・テストの結果、ヴィヴィアンはスカールレット役に決まり、1939年12月26日に本格的撮影は始まった。

スカールレットはそれまでの映画のヒロインとは異なり、幼馴染のアシュレーには相手も容易に倒れると献身的に介護する。生きるためには妹の婚約者も奪うし、屋敷に入ってきた敗残兵を拳銃で殺し、財布から金品を奪い取った女性である。ヴィヴィアンは上映時間4時間近いこの映画の中でほとんど画面の中心におり、存在感は他を圧倒している。映画の成功は彼女の熱演によるところが多く、アカデミー賞8部門を受賞し、彼女も主演女優賞を獲得している。

その後ヴィヴィアンは「哀愁」のマイラ役に挑み、スカールレットとは対照的な可憐で清純な娘役を演じ、大スターへの道歩み始めた。37歳で「欲望」という名の電車では、没落した旧家の娘が身をもち崩し最後は精神を病むという、初の汚れ役で2度目のアカデミー主演女優賞に輝いた。

しかし、若いときに患った肺結核が進行し、その後結婚したローレンスとの離婚も加わり、精神を病み始めた。1967年肺結核の悪化により53歳の短い生涯を終えたのである。

3. テレビ朝日の情報番組で「ソメイヨシノの老齢化・世代交代？」が放映を放映

放映日2015. 3. 31

「ソメイヨシノの老齢化・世代交代」を取上げたTV番組で、先例として西柴の桜並木が紹介された。



伐採前の西柴の桜並木（吉田純一さん提供された写真2枚）

現在の西柴の桜並木

4. 「外部講演会」 “わ”の会 熊谷哲氏

1. 講演の依頼は“あけぼの会”役員(松尾氏)が自分たちの住んでいる所の歴史を知りたいと講師を探していたが良く分からないので金沢区役所の区民活動センターに相談をした。⇒“わ”の会 今井代表というルートで実現した講話です。
2. 4月15日に、レイディアントシティ地域の老人会“あけぼの会”の依頼によって、レイディアントシティの集会所で、会員の熊谷さんが「源頼朝と金沢」という講演を行いました。

「レイディアントシティ」あけぼの会 講演会

日時： 2015. 4. 15(水) 14:10~14:35
場所： 「レイディアントシティ」集会所
演題： ー 源頼朝と金沢 ー 講師 “わ”の会 熊谷哲氏
レジメ： 源頼朝と金沢の関係を中心に豊富な歴史内容の講話が進められた。その他金沢にゆかりがある瀬戸神社・琵琶島神社・福石・富岡八幡宮等の話しに会員の皆さんが真剣に耳を傾けていた。(参加者 60名)



講師 熊谷 哲 氏

2015年6月～8月の予定

注：表中の「CC」は、「地区センター」の略

	6月	7月	8月
学習会	6月13日(土) 金沢CC 13:30~16:00 金沢北条氏貞時から貞頭 東洋大学 講師 細川 重男氏	7月11日(土) 能見台CC 13:30~16:00 金沢北条氏貞頭から貞将 東洋大学 講師	8月8日(土) 県立金沢文庫 9:30~12:00 東国の正倉院~金沢文庫 金沢文庫 学芸員
寺社を巡る会	6月4日(木) 集合：三崎口駅 10:00 テーマ：三浦33観音 訪問先：城ヶ島、大椿寺、 海南神社、音岸寺、見桃寺	7月2日(木) 集合：金田バス停 10:00 テーマ：三浦33観音 訪問先：清伝寺、福寿寺、 福泉寺、観音寺、慈雲寺、 海心寺	8月6日(木) 場所・時間：未定 テーマ：DVD鑑賞 百寺巡礼
古文書を読む会	6月11日(木) 金沢公会堂 10:00~12:00 永嶋家文書 6月25日(木) 金沢公会堂 10:00~12:00	7月9日(木) 金沢公会堂 10:00~12:00 永嶋家文書 7月23日(木) 金沢公会堂 10:00~12:00 ジョン万次郎帰朝記事	8月13日(木) 金沢公会堂 10:00~12:00 永嶋家文書 8月27日(木) 金沢公会堂 10:00~12:00 ジョン万次郎帰朝記事
ふれあいの道歩こう会	6月11日(予備日12日) 独自コースNo.27 秩父武甲山 埼玉県 秩父市	7月16~17日(雨天中止) 独自コースNo.28 花の尾瀬 群馬県 福島県	休会(夏休み)
懐かしの映画を観る会	6月8日(月) 12:10 金沢cc 悲しき口笛 (日) モロッコ (米) 6月22日(月) 12:10 金沢cc インドシナ (仏)	7月13日(月) 12:30 金沢cc 愛の調べ (米) 7月27日(月) 12:10 金沢cc 風顔 (仏) 上流社会 (米)	8月3日(月) 12:10 金沢cc そして父になる (日) 8月24日(月) 12:30 金沢cc 最高の人生の見つけ方 (米)
浮雲俳句会	6月7日(日) 12:00~ 金沢CC 第17回金沢区民俳句大会 への参加	7月26日(日) 9:30~ 金沢CC 第91回例会 テーマ 西之島	8月30日(日) 9:30~ 金沢CC 第92回例会 テーマ 種子島
パソコンを使いこなす会	6月9日(火) 金沢CC WORD基礎講座 —書式設定— 6月16日(火) 金沢CC EXCEL基礎講座 —書式設定 1— 9:30~12:00	7月14日(火) 金沢CC EXCEL基礎講座 —書式設定 2— 7月21日(火) 金沢CC Internet復習講座 —PICASAウェブアルバム— 9:30~12:00	8月11日(火) 金沢CC Internet実用講座 —Google Drive— 8月18日(火) 金沢CC WORD基礎講座 —図や画像の挿入 1— 9:30~12:00

連絡先： ・学習会 785-1639(今井) ・寺社を巡る会 046-866-3339 (吉田寿) ・古文書を読む会 784-4900(真田) ・ふれあいの道歩こう会 782-8147 (小俣) ・懐かしの映画を観る会 701-1606(佐藤) ・浮雲俳句会 774-3878(北野) ・パソコンを使いこなす会 701-9775(林)

編集後記 大門編集長、素晴らしい会報発行、本当にご苦労さまでした。編集のことは全くの素人ですが、どうにか会報53号を発刊することが出来ました。今号には“わ”の会、今年度方針、各分科会の活動計画が示されました何をやるにもプランがしっかりしていないと事を進めることは出来ません。晴らしい内容です。皆さんはそれぞれの分野で大いに楽しみ自己を高めて下さい。又、その結果を投稿して頂き、会報を発表の場として活用して下さい。1年間よろしくお願いいたします。 . (HS)	発行日	平成27(2015)年5月9日
	発行月	4回(2,5,8,11月)
	発行者	金沢区生涯学習“わ”の会
	編集長	鈴木 秀幸
	編集委員	貝田 誠作 田中 徳明 伊達 一雄 金久保常二 相川 勲 柴崎 幸治 金間 誠一 山腰策次郎